



The Comet

The Newsletter of K. International School Tokyo

Volume 24 | Issue 1 | September 2020



今号では...

- ▶02, 03...ようこそ、新しいスタッフの皆さん
- ▶03...冬休み中の旅行について
- ▶04...理事長よりご挨拶
- ▶05...IB Diploma試験結果—2020年7月
- ▶06...幼児教育ニュース
- ▶07...エレメンタリー生徒のケア指導
- ▶09...KIPSニュース
- ▶12...Sustainable Superheroes
- ▶13...運動部の最新情報
- ▶15...食料廃棄の削減
- ▶16...保健便り
- ▶18...卒業生大学合格実績

“ 親切な行為は、
どんなに小さいもの
でも、無駄になること
はない”
—Aesop

学校長より



ケイ・インターナショナルスクール東京の新年度へおかえりなさい！2019-20年度はいつも通りの年だったとはいえ、またKISTで学校長を務める初年度として、私が想像していたものとは全く違う年となりました。過去6か月間は、どのように私たちが教え、どのように生徒たちが学び、どのようにコミュニケーションをとり、どのように自分たち、家族、そしてコミュニティが安全を保つべきなのか、再度考えさせられる機会となりました。

日本における多くのインターナショナルスクールを結ぶ組織のうちの一つの学校として、私自身も多くの学校の管理者たちと繋がっています。学校長として通常、私たちは学校の方針や日本の国際教育に関するトピックについて年に数回会って共有、議論しています。今年の2月からは私たちは、週に2回オンライン上でミーティングをするようになりました。数日前のオンライン会議では、学校の新年度がどのように始まったかだけでなく、私たちがどのように感じているのか、またそれは何故なのかについて共有しました。いつもはエネルギーと明るさに満ち溢れている献身的で素晴らしい教育界のリーダーたちですが、困っていること、精神的および身体的な疲労についてや、心配ごとなどに関しても共有がありました。こういった感想を挙げた理由としては、現在の状況の不透明さや、予測不可能であること、コントロールが難しいこと、そして学校コミュニティを安全に保つための責任感などがあると説明していました。

こういった感想を持つのは、教育業界に限ったことではないと思います。実際のところ、今回の感染拡大によって甚大な影響を受けている業界に比べれば、影響は少ない方なのかもしれません。私はこのパンデミックが生徒たちやその家族にもたらす精神的な負担について考え始めるようになりました。変化は常に簡単なことではなく、しかもこの6か月間で私たちの多くは、過去数年あるいは数十年分より急激な変化に順応していかなければなりません。私たちはこれまでの日常のルーティーンを変えて、新しい働き方や学び方に対応しなければなりません。また私たちは、様々な行事やイベントに変更を加えたり、中止したりしなければなりません。Grade 5の生徒たちは、5月の初めにオンラインでエキシビションを行い、6月にはバーチャルでPYP修了式を実施しました。今年の卒業生の多くは、大学での計画が中断あるいは中止となりました。本校の最近修士号を取得した教員は、卒業式に出席することはできません。

私が重視したいのは、このパンデミックが子供たちのメンタルにどのような影響をこれから与えていくのか、まだわからないということです。自身の不安や心配について率直に話す子供もいますし、またそれらを外に出さずに自分の中で持っておく子供もいます。

次のページに続く

重要な日程



2020年9月

- 21 School holiday
- 22 Staff development day (No school for students)
- 24 (S) MYP information session for G6 and new parents
- 28-29 School photographs
- 29 (E) PYP information session for new parents
- 30-Oct 2 (G9) Camp (*Tentative)

2020年10月

- 1 (G5) Day camp (*Tentative)
- 3 SAT@KIST
- 12 2021-2022 enrollment applications open
- 14 (G10) PSAT tests
- 24 Last day of quarter 1
- 24 Whole school event day [中止!]
- 24 Explanation Day (for prospective parents) (8ページ参照) **【日程変更!】**
- 25-Nov 1 Autumn vacation

2020年11月

- 2 School resumes for all students
- 3 School day
- 9-10 (G7) Camp (*Tentative)
- 11-12 (G2-G8) English writing diagnostic testing
- 13 Quarter 1 progress reports issued
- 14 (G6-G11) MUN Scrimmage (@KIST) (*Tentative)
- 18 (E) PYP information session
- 23 (W) Parent/Teacher/Student interviews



前ページの続き

ですから、今回の変化が子供たちそれぞれに様々な情緒反応をもたらすことを知り、理解することが大切だと考えています。子供たちが、私たち大人がいつでも近くでサポートできるということを知っていること、そしてコミュニティ内でお互いを助け合うこともとても大事です。

この文章を書きながら、ふとオフィスの窓から外を眺めると、美しい晴れの日でした。明るい青空の下で、生徒たちはクラスメイトたちと楽しそうに遊んでいます(もちろんマスクを着用しながら!)。心配ごとにばかり目が向きがちなか中でも、私たちの周りで起きている素晴らしいことに気づくことの大切さを、この光景は思い出させてくれました。この

日はとても美しく、子供たちは楽しく学んでいました。そしてこんな美しい日はこれからも数えきれないほどたくさんやってくるのです!そしてその中にはたくさんの感謝すべきこともあるのです!



Kevin Yoshihara Ed. D.
Head of School/Elementary School
Principal



ようこそ、新しいスタッフの皆さん



2020-21年度の新スタッフをご紹介します。KISTIに新しく加わった仲間をどうか歓迎してください!

教員



Julian Buck
Elementary PE
(G2-G6)



Marina Buck Tsurugai
Secondary
Mathematics



Hannah Cowie
Secondary
Geography



Andrew DiBella
Secondary
Visual Arts



Fernanda Guzman
Classroom Teacher
G2B



Ryusuke Hirai
Secondary
Japanese



Madeline Horan
Secondary
English



Thomas Hughes
Secondary
Mathematics



Mia Newman
Secondary
Science/ESS



Judith Peel
Secondary
Science/Chemistry



Connor Smith
Secondary
Music



Naomi Tawiah
Secondary
Mathematics



Chiaki Tomita
Secondary
Japanese



Yuqi Zhao
Secondary
Mathematics

次のページに続く

前ページの続き

教育サポートスタッフ



Patricia Aldana
ELS Instructor
G5



Priyanka BP
Teaching Assistant
K2A



Alishba Butt
ELS Instructor
G1A



Katharine Forbes
Teaching Assistant
K2B



Naoki Fukushima
Teacher-Trainee
Secondary Japanese



Jaydine Hastings
Teaching Assistant
K3B



Trevor Root
Teaching Assistant
K2B



George Rowlands
Teaching Assistant
G1A



Devin Takahashi
Teaching Assistant
K3A



Sophie Taylor
ELS Instructor
G4

冬休み中の旅行について



コロナウイルス感染拡大のような世界的な混乱がない通常のスクールイヤーでは、冬休みは旅行する素晴らしい機会です。現時点では、来る12月および1月における旅行規制や、指定される自主隔離期間などについてはまだ明確にはわかりません。夏休み期間中に比べると、旅行規制が多少は緩和されているため、この冬休みに海外旅行を計画されるご家族の方もいらっしゃるかもしれません。その場合は、日本に帰国された後14日間の自宅待機が必要となる可能性があることを踏まえたうえで、冬休み期間中の旅行を計画していただけますようお願いいたします。

私的な旅行によってお子さんに二週間の自宅待機が必要となった場合、学校は遠隔授業等の対応はできませんことを、あらかじめご了承ください。自宅における自主学習のための教材を提供することについては可能な場合もありますが、3月から6月中に実施した遠隔授業の内容とは全く異なります。冬休み中の過ごし方についての計画を始めるにあたって、上記のことにご留意いただけますようお願いいたします。

Kevin Yoshihara Ed. D.
Head of School

次号のThe Cometが発行される前に、KIST生徒たちの活動および功績に関するストーリーや写真をもっと見ませんか?

KIST Social Media

下記をフォローして最新情報をご確認ください!

ig: k.international.school.tokyo
fb: k.internationalschooltokyo
tw: KIST1997

理事長よりご挨拶

皆さんお帰りがなさい。そして新しくKISTメンバーとなられた皆さん、KISTへようこそ！

毎年新学年度を迎えることはうれしいものですが、今年ほど新学年度をこんなにも待ち望んだことはありません。キャンパスに生徒と、完全とは言えませんが日常が戻り、しばらく見ない間に成長した子供たちの姿を目にした時は、目頭が熱くなりました。COVID-19の影響により誰もが困難や非日常を感じていたこの半年間でしたが、さらに慣れ親しんだ日常を完全に取り戻すには、今しばらく生徒や保護者、スタッフの皆さん全員の協力が必要です。学校は感染対策や対応を適宜見直し、今後も継続して対面授業が続けられるようCOVID-19対策を実施していきますので、スクールコミュニティーの皆さまにはご不便をお掛けしますが、何卒ご理解とご協力をお願いいたします。

KISTミッションの遂行

KISTのミッションの中核は、「質の高い教育を提供し、国際社会に貢献する学力的にも人格的に優れた有能な若者を育成すること」です。KIST理事会では、2013年度からミッション達成を目的に、「学問的に高いレベルの学校」を目指し教育改革を進めてきました。また、2018年には学校のビジョンに変更を加え「すべての学習者が学問において優秀さを示す」とし、理事会は予算を組み、エレメンタリースクールとセカンダリースクール両方のエリアで学習のサポート体制を強化し、生徒の可能性を最大限に引き出すよう努めてまいりました。

E-Communications No. 7にて副理事長/アソシエートヘッドのMrs. Komakiがお伝えしている通り、KISTが最後の2年間にInternational Baccalaureate's Diploma Program (IBDP)を採用した最大の理由は、リサーチ力や分析力、大学や国際的な社会で成功するために必要な論理的思考力や批判的思考力、ライティング、プレゼンテーション、ディベートなどのコミュニケーション能力、将来の学問やキャリアに備える為の高い知識、ボランティア精神を養う機会など、様々なスキルや知識を育成するカリキュラムだからです。

また、DP及びIGCSEなどで補われた学校のカリキュラム全体は、KISTのミッション達成を目標に、将来の活躍に必要なスキルや知識を養う質の高い教育を、エレメンタリーの段階から卒業まで一貫して提供する為のフレームワークとなっています。IBDPの最終結果は世界で貢献するために必要なこれらの知識やスキルの習得度を国際的に証明するもとなるため、理事会はミッション・ビジョンに従い、すべての生徒がDPの最終結果で高得点を取得することを目指しています。

また、DP試験は生徒の業績を計る指標となり、その結果は大学等の第3次教育機関への進学に重要な役割を持つことが、DPで高い結果をだすことを重要視しているもうひとつの理由です。

Dr. YoshiharaをはじめとするKISTの教育リーダーシップ

チームは、強いリーダーシップで熱心で献身的な教育スタッフを牽引し、ミッション達成に向け改革を推し進めています。加えて、生徒の頑張り、保護者のサポートにより、昨年2019年の卒業生はDP平均39.20点(世界平均29.65点)、KISTは世界12位という結果を出すことが出来ました(ib-schools.comのウェブサイトより)。また2020年卒業生はDPの平均点が39.83点(世界平均31.38点)となりました。この困難な状況下で2020年卒業生及び教員はよく頑張りました！詳しくは、次のページにありますDPコーディネーターのMr. Hiro Komakiからのレポートをお読みください。

決算報告について

2019年4月～2020年3月期決算が2名の監査役による監査を経て、理事会の承認と評議委員会への報告が完了しました(私立学校法により決算期間の変更はできないため、決算期間は4月から3月末となり、実際の学校年度とは異なります)。決算報告書等の閲覧を希望される方は、担当の小松/本田までご連絡のうえ閲覧予約をお取りください。なお、法律に従いまして閲覧対象者は在校生とその保護者、学校スタッフとなります。

建設計画について

新校舎建設に伴う付帯工事として学校北側のスペースに仮設教室が完成し、現在G8のホームルーム、およびG6～G8のサイエンスクラスの教室として使用を開始しました。当初の予定ではこの夏休み明けから新校舎建設工事が着工となり、新G6～G8生徒が中村中学・高等学校の校舎を借りて授業をすることを計画していました。しかしながら、今回のCOVID-19の世界的感染爆発の影響により、KISTにおいても経済的なサポートを必要とするご家庭が増えることが予想され、E-Communications No. 280でお知らせした通り、急遽COVID-19特別減免措置を実施いたしました。理事会に置きましては、COVID-19の影響下にあっても生徒が継続して学習を続けられるようサポートすることを最優先課題とし、その予算確保のため建設延期を決定した次第です。この決定により、今年度からのG6～G8の中村中学・高等学校への移転及び新校舎建設工事は一時延期となりますが、COVID-19による経済的影響の目途が付き次第、再開を検討する予定です。新校舎完成を楽しみにしていらしたスクールコミュニティーの皆様も沢山おられたと思いますが、理事会の決定にご理解のほど宜しくお願い申し上げます。

最後に

まだ、終息が見えない状況下のCOVID-19ですが、KISTコミュニティーは困難を乗り越えていける力と、強固な団結力を持っていると信じています。

どうぞ今年度も引き続きよろしくお願い申し上げます。

Sayoko Naito
Board President/Director of Operations



IB Diploma試験結果—2020年7月

皆様もご存知の通り、2020年5月の試験中止の決定に続き、IBは7月5日に、内部評価(IA)、予想点(PG)、各校のこれまでの試験結果(PGの正確性、課題と試験の親和性)、そして2020年5月の教科選択データを元にした最終成績算出モデルを発表しました。このモデルの実施に際し、多くのIB校では学校の予想点と実際の生徒の成績の乖離を確認したようですが、KISTでは主に以下の理由からこの乖離は生じませんでした。

1. これまでのKISTのPGの正確性
2. KISTの卒業生が大学から無条件の入学許可を得た後も、最終DP試験に向けて全力で学習に励んできたため

Year	KIST DP average	DP world average	Highest KIST score	KIST C/D Graduates	KIST C/D Diploma Graduates	% of students in full DP	# of Diplomas attained	% that attained Diploma
2020	39.83	31.38	45	44	41	93%	41	100%
2019	39.20	29.85	45	37	35	95%	35	100%
2018	37.76	29.79	44	38	34	89%	34	100%
2017	38.05	29.95	43	37	35	95%	35	100%
2016	36.53	30.07	43	38	37	97%	36	97%

この場をお借りして、生徒が最終のIB試験において卓越したPGを獲得することができるよう、支え続けてこられたKIST教師の努力と献身に感謝を伝えます。また、これまで最終試験において高いPGを維持し続けるよう努力を続けてきた卒業生にも感謝します。これは皆さんが、学校と後輩たちに残した大きな宝です。

多くの困難な状況にもかかわらず、KISTの「2020年度卒業生」のDP結果(平均点)は2019年の平均を更に0.63上回る過去最高の39.83点という素晴らしいものでした。2020年度卒業生のうち、1名が世界的にもトップ0.42%にあたる45点満点を取得しました。過去5年間のDP結果は上記表にまとめてあります。

2020年度卒業生に関する特記事項として:

- 世界的にフルディプロマ履修者は50%であるのに対し、KISTでは学年の44名41名(93%)がフルディプロマを履修しました。
- 世界的なフルディプロマ取得者が85%であるのに対し、KISTではフルディプロマ履修者41名中41名(100%)がIB Diplomaを取得しました。
- IB Diplomaを取得したKIST生の平均点は39.83でした。これは世界平均である31.38点を8点以上超えています。
- 世界的には、40点以上を獲得するのは全体の13%に過ぎないのに対し、KISTのIB DP取得者のうち25名(61%)が40点以上を達成しました。これら生徒はKIST "Learning for Life" University Support Scholarships(大学進学奨学金)の選考対象となります。
- 1名が、世界的には0.42%しか達成できない45点満点を取得しました。
- 2名が44点、3名が43点、8名が42点、5名が41点、6名が40点を取得しました。

右表はKISTのコースごとの平均点(IB Diploma取得者から算出)とIB世界平均点との対照表です。

- KISTで提供されたコースの97%でIB世界平均を超えた点数が取得されました。
- 提供されたコースの97%(緑及び青のもの)ではIB世界平均を0.5点以上上回る点数が取得されました。
- 59%のコース(緑及び青のもの)でIB世界平均を1点以上上回る点数が取得されました。

詳しいIB Diplomaの結果及び統計は以下"Statistical Bulletin"からご覧いただけます。

<https://www.ibo.org/about-the-ib/facts-and-figures/statistical-bulletins/diploma-programme-statistical-bulletin/>

この予期せぬ出来事に襲われた1年間においても忍耐力と決断力を発揮し、素晴らしいIB DP結果を達成した2020年度卒業生の皆さん、おめでとうございます。皆さんが進学した大学でも引き続き成功を収められることを心より祈っています。



Hiro Komaki
DP Coordinator

Course	KIST DP Course Average	IB DP world average for 2020	+/- over IB DP world average
English A L&L HL	5.90	5.14	0.76
English A L&L SL	6.00	5.45	0.55
Japanese A L&L HL	6.67	5.86	0.81
Japanese A L&L SL	7.00	5.82	1.18
Japanese B HL	6.88	6.17	0.71
Japanese B SL	6.71	5.16	1.55
French AB SL	5.83	4.97	0.86
Spanish B SL*	6.00	5.12	0.88
Business Management HL	6.60	5.31	1.29
Business Management SL	6.29	5.25	1.04
Economics HL	6.24	5.34	0.90
Economics SL	6.25	4.98	1.27
Geography HL	5.00	5.40	-0.40
Geography SL	5.80	4.98	0.82
History HL	5.50	4.53	0.97
History SL	6.00	4.70	1.30
Psychology SL*	6.00	4.78	1.22
Biology HL	6.30	4.72	1.58
Biology SL	6.00	4.45	1.55
Chemistry HL	5.80	4.92	0.88
Chemistry SL	6.17	4.34	1.83
ESS SL	6.13	4.36	1.77
Physics HL	7.00	5.29	1.71
Physics SL	6.25	4.70	1.55
Math HL	7.00	5.04	1.96
Math SL	6.93	4.79	2.14
Math Studies SL	6.63	4.18	2.45
Visual Art HL	5.00	4.21	0.79
Visual Art SL	5.60	3.85	1.75

*Pamoja Educationで履修・学習された教科

幼児教育ニュース



新入園児のみなさん、ご入園おめでとうございます。そして、在園児のみなさん、進級おめでとうございます。そして、遠隔教育を通して長い家庭での学習の中、おかえりなさい。

幼稚園の教員、スタッフ全員が、子ども達が学校へ戻ってくるのをとても楽しみに待っていました。今年度はK1Bに新しい先生を迎えました。Emma Moulder先生は幼児教育を専門としており、KISTにてTeaching Assistantとして、K1クラスで4年間過ごした以前にも、他のプレスクールで幼児を教育しておりました。また、K3BクラスのWilhelm Merchel先生もKISTにて幼稚園教員を以前経験しております。新しいTeaching Assistantの先生方も含め、今年も国際色豊かなメンバーで毎日子ども達と楽しく過ごしていけたらと思っております。

この長いお休みの期間、それぞれが新型コロナウイルス対

策に追われ、大変だったことと思います。まだ

だ先が見えない中ではありますが、ご家庭の皆さんと力を合わせ、何とかこの困難な状況を乗り越え、子ども達のために、楽しい学習環境を用意できればと思います。保護者の方におかれましても、困難なことは多々あるかと思いますが、ご協力よろしくお願いたします。新型コロナウイルスの前と後でどのように変わったのか以下をご覧ください。

幼稚園の教員、スタッフともども、学校の安全対策ガイドラインにのっとり、毎日安全に過ごせるよう取り組んでおります。保護者の方からも多大のご協力をいただいていること、感謝いたします。

Eri Ozawa
Early Childhood Coordinator (K1-K3)/
K2B Teacher



新型コロナウイルス前

各クラスではグループ活動が盛んでした。



登降園時は年少、年中と同時に並んでいました。



元気な時はマスクは無しでした。

石鹸で手を洗います、時々水だけでしたが...



複数のクラスで園庭に行っていました。

ランチタイムはお友達や教員と楽しく話していました。

どんな時でも教材や、遊具は仲良くお友達と使っていました。



新型コロナウイルス後

各クラス、テーブルの数が増えました。これにより、子ども達が個人で活動するスペースが確保されました。



登園、降園時間は各クラスによって決められています。



どんな時でもマスクをするよう心がけています。また、マスクをしない時はお話をしません。

石鹸で手を洗い、手を消毒する、もしくは手を洗えない時は手を消毒します。



各個人個人の間隔を広く保つため、一クラスごとに園庭に行っています。



マスクを外すので、食事中はお話をしません。



なるべく、自分のものを使います。お友達と共有はしません。

PYPニュース

学校へおかえりなさい

この記事を書くのに際して、去年のちょうど今頃何を書いていたのか振り返るのが役立つだろうと思い調べてみると、こう書き始めていました。

「2019-2020年度は私たちにとって、非常にたくさんのイベントに溢れた年になるでしょう。既に提案されているKISTの新校舎建設に加え、東京オリンピックも間もなく始まり、とても賑やかになりそうです。」

2019-20年度がイベントに溢れた年であったことは皆さんにも明らかだと思いますが、残念なことに、良いことばかりではありませんでした。コロナウイルスの感染拡大は、私たちのカリキュラムの実施に多くの障害をもたらしましたが、学校コミュニティ全体で協力して乗り越えてきたと感じています。遠隔授業中の皆様のサポートにはとても感謝していますし、今後再度休校を強いられた際にも問題なく遠隔授業に移行できるように、遠隔授業計画を見直しているところです。ソーシャルディスタンス対策が取られている中でも、学校に戻ってきた子供たちはみんな元気で楽しそうに過ごしており、すべてのカリキュラムを問題なく実施することができると強く信じています。

2020-21年度のエレメンタリーでは、多くの新しいスタッフを迎え、またたくさんのクラス担任が新しい学年に移り、新鮮な空気が流れているように感じます。今年は多くの探求

の単元に変化がある予定ですし、皆さんにとって面白い、楽しい時間になると思います。

Pearson Abacusの算数プログラムへの移行は、Active Learnを主軸として導入し、順調に進んでいます。本年度加わるのは、Grammar and Spelling Bug、Bug ClubとScience Bugです。これらのプログラムでは、優れたインタラクティブな教材を、教員がActive Learnを通して割り当てていくことができます。今年は、MoodleからPowerSchool Learningへの完全移行を行います。遠隔授業での経験を生かし、スムーズに実施していきたいと考えています。

引き続きKISTの教員は、主要教科の英語と算数をより優れたものにする努力をしつつ、構成主義と概念に基づく学習のIB哲学を発展させていきます。Parent Welcome Nightでもお伝えした通り、今年のPYP説明会は録画済み動画の発信とさせていただきます。もしカリキュラムに関する質問等がございましたら、私の方までご連絡ください。

安全で素晴らしい2020-21年度となりますように！

Oliver Sullivan
PYP Coordinator



エレメンタリー生徒のケア指導

戻ってきましたね！

学校へおかえりなさい！まず、学校で生徒の皆さん、保護者の方々、そして学校スタッフたちと会えるのはとても嬉しい、ということをお知らせください。そして学校コミュニティのみなさんと再度対面で会えることに、感謝でいっぱいです。感傷的な文章で始まったことに、この場には相応しくないと考えた方もいらっしゃるかもしれませんが、どうかお許しください。とにかくみなさんと一緒に学校へ戻れたことに、本当に感謝しています。

私は8月中サマーレビュープログラムで教えることができたので、学校に戻ってきた生徒たちの話を聞き、離れてしまっていた子供たちの心の高揚をよく感じることができました。これまで私たちが思っていたよりも、私たちにとって人間同士の対面での親密な関わりが必要だったことは明らかです。これについては、8月24日に学校全体が再開し、生徒たちが同じようにワクワクした顔をしているのを見た時も、同じことを感じました。私たちはマスクで顔を覆われ、手指消毒液で強固な対策を強いられていますが、私たちの心はそれらに負けじと輝いているように思います。

私たちは、お互いに気を付け合うことでこのコミュニティの大切な宝物を守っていかねばなりません。そのためには、お互いが安全に過ごせるようにコミュニティ全体で適切な対策を行っていくしかありません。キャンパス再開時

の安全対策にしっかりと従い、感染予防対策に前向きに取り組んでいくことができれば、本年度が終わるまでこのキャンパスで一緒に学ぶことができるはずですよ。

私は本年度エレメンタリースクールで、生徒ケアコーディネーターを務めます。生徒一人ひとりの心身および学習のニーズに合わせたサポートを通して、お子様の教育に関わることができるのを楽しみにしています。子供たちが成長を通して学ぶ中で最も大切な能力の一つが、積極的で生産的に社会に参与していく力です。学校再開に際し、私の最も大切なミッションの一つは、魅力ある、開放的で心地よい、学び成長する社会的ネットワークを提供することだと考えています。

この前例のない時代ですが、生徒、先生たちおよび学校スタッフの皆さんと一緒に働くことを楽しみにしています。

お子さんの学校生活に関する質問で私に答えることができるものがあれば、ぜひメールを送ってください。また保護者のキャンパス訪問が再度可能になった時には、エレメンタリーオフィスまで来ていただければ、ミーティングの予約を設定します。

Clay M. Bradley
Elementary School Vice Principal/
Student Care Coordinator



WE ARE A
COMMUNITY

エレメンタリー-ELS

エレメンタリー-英語サポートチーム2020-21

やっと学校に戻ってくることができましたね！昨年度は多くの生徒たちとELSスタッフが1対1のオンライン英語レッスンを楽しく行いましたが、ようやく教室での対面授業に戻ることができて嬉しく思っています。

生徒の中には、数か月間にもわたって自宅学習が続いたことで、学校で英語を話す環境に戻ったことに対して不安を覚えている人や、英語をうまく使えていないように感じている人もいるかもしれません。でも心配しないでください！今学期の私たちの大きな役割の一つは、生徒の皆さんが英語での学校生活にもう一度慣れるようにサポート、応援することです。

ご家庭で話されている言語の能力や知識すべてを英語に変換していくことに慣れることは、英語での学校生活にもう一度慣れることに繋がります。そのため、お子さんのご家庭で話されている言語能力の高さはとても重要なのです！その高い能力を英語に生かすことで、英語能力も高めることができます。

覚えておられる方もいらっしゃると思いますが、私たちがいつもParent Welcome Nightで配布するBonnie Campbell Hillの言葉があります。

もしあなたの母国語が英語でないのなら、お子さんにはぜひ自身の母国語で話し、読み聞かせてあげてください。母国語で話しかけることは、お子さんが英語を学ぶことの障壁にはなりません。というより、言語能力の発達においては、第一言語をまずよく学ぶことが大切なのです。」(Campbell Hill, 2001, p. 446)

上記の言語能力発達に関する研究からも、安心していただけたと思いますが、今年の上半期に長期間自宅待機したことのプラス面の一つは、ご家庭で話される言語の成長の機会となったことが挙げられます。今後もお子さんのご家庭で話される言語を伸ばす訓練を続けていただくことは大切です。また、Campbell Hillが挙げている英語と家庭での言語の両方を上達させる3つのコツも覚えておいてください。

- 毎日学校での出来事について、ご家庭で話されている言語で聞き、話すこと。
- ご自身の母国語で、難しい概念について説明すること。
- お子さんから英語を覚えてもらうこと。



2020-21年度エレメンタリー-ELSスタッフ:
(後列左から)Ms Ali (G1A), Mrs Aldana (G5), Ms Rachel (G3), Ms Parvathy (G2), Ms Rina (G1B)
(前列左から)Ms Sophie (G4), Mr Derek (K3B), Ms Wang (K3A)

特に本年度よりKISTに入られた方々で、ご家庭でのお子様の言語能力の上達方法などについてのより詳しい情報やコツを知りたい方は、私までお気軽にご連絡ください。

Rachel Parkinson
Elementary ELN Coordinator
rachel.parkinson@kist.ed.jp



参考資料:
Campbell Hill, B. (2001). *Developmental continuums: A framework for literacy instruction and assessment K-8*. Norwood, MA: Christopher-Gordon.

K. INTERNATIONAL SCHOOL TOKYO PRESENTS

**EXPLANATION DAY
2020**

For families interested in enrolling children for 2021-22

SATURDAY, OCTOBER 24, 2020

English session 9:45 am - 12:00 pm (Reception: 9:30 am)	Japanese session 1:15 pm - 3:30 pm (Reception: 1:00 pm)
---	---

Reservations close: Friday, October 23, 2020, 3 pm

Register: <http://www.kist.ed.jp>

Depending on the COVID-19 situation in Tokyo, the format of Explanation Day may change. In this case, registered families will be contacted via e-mail.

KIPSニュース



チャレンジからチャンスへ！

KIPSの私たち全員は、多くの人と同様に、COVID-19が原因で4月13日から5月の終わりまで園の閉鎖を余儀なくされ、とても落ち込みました。6月1日から子供たちを迎えられたことに喜び、また教室で笑顔や笑い声を聞くことができるとてもうれしく思いました。



振り返ってみると、遠隔学習のビデオを通して音楽、ダンス、クラフト製作、読み聞かせや運動など親子をサポートをできたことは幸運だと感じています。スクリーン越しに先生の顔を見て子供たちがどのように楽しんだかを聞いてとてもうれしく思いました。ある子供は、先生と同じ髪型になりたいと教えてくれました！このように保護者の皆様、私たちと共有し、家庭で子供たちをサポートして頂き感謝致します。

P2の子供たちはバーチャルスプリングコンサートで演奏することができなかったので、先生は園や家庭で子供たちが練習する様子を家族が見られるようビデオにまとめました。子供たちが歌詞や動きを覚え、楽しみ歌い踊る自信に満ちた様子を見られるようにしました。お子さんの演奏のビデオクリップをお送りいただき、ありがとうございました。子供たち皆と「一緒に」ビデオを見られてとても良かったです。



6月19日には、KISTジムで対面式の完了式を開催することができて本当に良かったです。ソーシャルディスタンスを保つために、すべての座席を2メートル離さなければなりませんでした。距離間を保った中でも、子供たちが親や先生に「Goodbye Song」を歌ってくれた時、私たちは互いに近く感じ、また喜びや幸せを感じました。セレモニー中の笑顔も忘れられません。

子どもたちを通常ルーティンのあるレベルに戻すことは、大きな課題ではありますが、恐れるよりむしろ成長し学ぶ機会だとも言えるでしょう。2020-21年度スクールイヤーに進級、また新しく子供たち迎えることをとてもうれしく思います。COVID-19の状況下での混乱を避けるため、私たちは積極的かつ明確なコミュニケーションで親子サポートし続けます。

さあ一緒に楽しみましょう！

Stephanie Pae
KIPS Coordinator



Asa



Daiki



Hana



Haru



John



Kai



Riko



Sebby



Shusei



Taiyun

MYPニュース

MYP生が継続と変化の入り混じった1年をスタートしました

進学年度の始まりは、その前年度に続く期待に満ちています。KISTにこれまで在籍してきた生徒、教師、ご家族はこれまでの学校生活に馴染み、安定と安心感をおぼえていらっしゃると思います。と、同時に、編入生や、G6に新たに進学した生徒の一部はセカンダリーに馴染むまで少し時間が必要かもしれませんが、多くはこれまでの経験に基づき、学校生活に安心感をお持ちだと思います。しかし、今年は異なります。

COVID-19によってもたらされた安全対策による変化はかなり大きなものです。この変化には物理的(MYPの教室はすべて1階にあります)なもの、時間的(一日は、9:40からのロングホームルームから始まり、16:30に終わります)なもの、そして社会的(年度初めはクラブ活動が中止・延期となっています)なもの、多岐に亘っています。

MYP生と教師たちは新たな変化に必要な調整のために努力してきました。生徒たちは数か月の休校や遠隔・通信学習の後で通常の登校を行えることを楽しんでくれており、新しい生活に伴うソーシャルディスタンスの確保や手洗い・消毒などの衛生管理の習慣を意識して身に付けてくれています。生徒たちは新しい時間割に素早く順応し、安全対策のための変化にも適応してくれています。



Opening Lines: MYP English Language and Literatureの掲示板ディスプレイ

生徒がこれらの変化にスムーズに対応できた主な理由は、これまでMYPで学習してきたことの積み重ねだと思えます。KISTの教師陣は生徒がMYP各教科で求められる難度の高い探求に耐えられるようしっかりと指導を提供しています。そのため、今年初めてMYPを開始する生徒も、最終学年となるG8も、主体性のある学習者・思考者に求められる概念、内容の探求などを行うためのスキルを有しているのです。

学習に加え、MYP教師は生徒が将来直面するストレスに耐えうる管理能力を身に付けられるよう、ホームルーム・アドバイザーでのサポートを行っています。MYPの各ホームルームには2名の担任が配属され、生徒が2020年



G6Aの自己紹介パズルピース

度のミドルスクール生活を楽しみながら、必要な社会的、精神的スキルを身に付けられるよう指導を行ってまいります。

KISTの教職員全員が、MYPでの素晴らしい一年を楽しみにしています。

Robert White
MYP Coordinator



セカンダリーSRC



新学年度の始まりと共に、意欲的で、リーダーシップのある生徒たちが新たなクラス代表候補として名前を連ねています。

生徒会(SRC)はその役割に最もふさわしい候補を選出するための新たなプロセスを再検討することになりました。

新しく役職や責任の説明書を作成し、面接も行うことで、候補者がSRCで求められる行動についてより理解を深めることができるとともに、SRC役員も次に入るメンバーがその職務にふさわしいかを判断できるようになりました。これはこの困難な時期に生徒にとってより良い環境を提供するため、より良い議論や判断をしていける候補者をメンバーに迎えるために必要なことだと考えています。これまでに私たちにとっては大量の33名からの立候補を受取りました！立候補し、最終的にSRCに加入することになる候補者が、これまで普通に行っていたプロジェクトが、ソーシャルディスタンスの関係で行えないなどという難しい時期に、物事を推し進めていける意欲と創造性を発揮してくれることを望んでいます。難しい時期、とは言いましたが、このような時期だからこそ、これまでにない逆転の発想で、全く新しいプロジェクトを生み出していけるのではないかと思います。

次のページに続く

前ページの続き



セカンダリーSRC役員

(左から) Ravi (G12B)、Riya (G12A)、Kishore (G11B)、
Tatsunori (G11B)、Michiko (G12A)

Arts (芸術)委員会とMedia (メディア)委員会も刷新し、Sports (体育)委員会をいったん廃止しました。残念ながら、ソーシャルディスタンスを守る必要性から、大半の運動部活動が中止となったため、この委員会の必要性がなくなってしまったためです。しかし、将来的にはこの委員会の復活を望んでいます。一方で、Arts委員会とMedia委員会についてはMA委員会に統合します。この委員会では2名の委員長がデジタルアートに関心を持つ生徒たちを率いる予定です。委員長が選出され、活動が開始次第、詳細をお知らせします。

最後に、学校再開初日にSRCが配布した「ストレス・ボール」を生徒の皆さんが喜んでくれたことを願っています。これを配ったのは、G12が一瞬でも診断テストのことを忘れ、その他下級生もボールを握りしめている5分間だけでも新型コロナウイルス感染症に対する恐怖をやわらげられないか、と考えたからです。

今回のコロナ感染症の流行で私たちすべてが困難な状況に置かれていますが、この中でもKISTコミュニティの皆さんがリラックスする時間や、そのための方法を見つけれられていることを願います。今年もソーシャルディスタンスを守りながら、皆さんにとって素晴らしい一年になることを願っています！

SRCを代表して、Ravi (G12B)
SRC Public Relations Officer

セカンダリーELS



スタッフ紹介

2020-21年度にまたKISTでの対面授業を行うことができることを何よりうれしく思っています。また、今年はセカンダリーELSにMs. Kana Furnivalをお迎えできたこともとても喜ばしく思っています。エレメンタリースクールのELSインストラクターとして5年間、様々な学年で経験を積まれたMs. Furnivalが、その豊富な経験をもとに、困難な状況に直面した生徒が、その実力を最大限に発揮するためのサポートをしてくださることと確信しています。

現在のCOVID-19の状況下で、提供できるサポートの形も変化しました。それでも、チームとして、現在の制約下

でも頑張ろうとする生徒のサポートを最大限行い続けたいと考えています。今年は、サポートを最大限効率よく行えるよう、私とMs. Furnivalで追加の援助を必要とするG6~10の全ての生徒に対応してまいります。ELS (英語サポート)についてご質問がございましたら、私に遠慮なくご連絡ください。(jade.bonus@kist.ed.jp)

Jade Bonus
Secondary ELS Coordinator

Ms. Bonus



私はオーストラリアのメルボルン出身で、セカンダリーの英語と、メディアアーツの教員資格を有しています。教育業界に入る前は、音楽業界で編集者をしていました。楽器の演奏や、歌うことは全くできないのですが、今でも音楽への情熱は失っていません。

日本に来て、もう7年になります。最初はJETプログラムで来日し、自然が美しい青森県十和田市で2年間英語を教えていました。この美しい町は私にとって日本の故郷です。KISTには2015年から勤務しており、エレメンタリーでG1のELSインストラクターとして3年間勤務した後、セカンダリーELSに異動し、昨年からはELSコーディネーターも務めています。

2020-21学年度は、私が最初に教えたG1の生徒がG6としてセカンダリーに進学してくるということもあり、特に楽しみな一年になりそうです！時がたつのは本当に早いものですね！

Ms. Furnival



Kana Furnivalと申します。KISTには2014年から在籍し、エレメンタリースクールでELSインストラクターをしていました。今年からはセカンダリーの生徒のサポートをするという新たなチャレンジを楽しみにしています。

私の教育への情熱は英国の(日本の幼稚園にあたる)early learning schoolで日本人の子どもたちに英語のサポートを行った時にさかのぼります。自身がサポートした子どもの進歩を見る喜びは何物にも代えがたいもので、この時の気持ちは年々強くなりました。

私自身が、日本語を母国語とし、英語を第2外国語として学んだ経験を持つことから、外国語習得の難しさに共感することができます。自身の経験も生かしながら、生徒の学習という旅路をサポートしていきたいと考えています。

Global Social Leaders: Sustainable Superheroes



初めまして！私たちSustainable Superheroesは六人のG11生徒で結成されたチームであり、KISTで国連が採択した「持続可能な開発目標・SDG」を推進する活動をしています。今年、「Global Social Leaders (SDGを推進する学生活動を評価する世界大会)」に参加しました。

私たちは大会の一環として、屋上庭園などの様々なプロジェクトを計画していましたが、それらを実行するには資金調達が必要でした。そこで私たちは同じく学生主導のチームである「Green Team」と協力し、Winter Concertにて募金目的で温かいドリンクなどを販売しました。この募金活動では約4万円の資金を集めることができたうえ、皆さんに私たちの活動についてより知っていただけたので、とても大きな成果となりました！この資金は主に屋上庭園の建設に使われ、メンテナンスなど六人のメンバーのみで継続するのが難しい仕事はGreen Teamの協力を頂き、無事屋上の清掃と除草作業のほとんどを終えることができました。

屋上庭園などのプロジェクトを進めているのと同時に、私たちは学校内でより大きなスケールで活動を広める必要性に気付きました。ここからさらに計画を練って生まれたのがG5の先生方・生徒たちと合同で行ったワークショップでした。このワークショップでは、私たちが自ら制作したプレゼンテーションやその他教育リソースなどを使い、G5生徒たちとSDGについてより楽しくインタラクティブに学ぶ機会となりました。特に、私たちはプレゼンテーションの際に使ったブックレットの作成に力を入れました。各SDGの内容やそれに関連する社会問題などについてのリサーチを入念に

行い、G5の生徒たちにも分かりやすい資料を提供しようと努力しました。この後再度屋上庭園を継続することが計画されていましたが、残念ながら新型コロナウイルスの影響で難しい状況になってしまいました。予想外な問題に直面しながらも、私たちは今後何年も屋上での緑が保てるような、「持続可能」な庭園が完成されるよう目指しています！！

やがて新型コロナウイルスの流行が本格的に始まってしまい、私たちは学校に行くことができないまどうプロジェクトを続行するか様々な方法を模索しました。そこで決定した新プロジェクトが教育目的のSDGに関する動画を投稿するというものでした。私たちは毎週オンライン上で話し合い、17日間毎日一つのSDGに着目した動画を一本ずつYouTubeに投稿しました(ちなみにその動画らはYouTubeチャンネル「Sustainable Superheroes」にて公開されています、ぜひご覧になってください！)。動画の内容は、そのSDGが何を意味するかだけでなく一人一人がそれを成し遂げるためにできることを伝えることに注目しました。実際にチームとして会えなかったためいくつかの課題に直面しましたが、このプロジェクトを通して学校の中だけでなく世界中に活動を広めることができたので、とても良い結果となりました！



結果的にはGSLの大会では準決勝まで進むことができ、プロジェクトの柔軟性と適応力を評価するPivot Awardにも入賞することができました。新型コロナの影響がある中でも、活動の目的を維持しながらしなやかに対応できるよう施した工夫を評価していただき、私たちはとてもうれしく思っています！残念なことに屋上庭園やG4~5のワークショップを継続することはできませんでしたが、動画を作ることで新たに創造性やコミュニケーションのスキルを役立てることができたので、とても良い機会でした。

最後に振り返ってみると、三つの主なプロジェクトを進める中で様々なスキルを磨くことができ、皆さんにSDGについてもっと知ってもらったので、チームとしては大成功だったと思っています！今後もSDGプロジェクトをより広められるよう活動を続けますのでご期待ください！

Hanano (G11A), Mehak (G11A), Stephen (G11A), Eleina (G11B), Hanna (G11B), Kishore (G11B)



運動部の最新情報



秋期スポーツ

現在、KISTの部活動はCOVID-19の影響と、生徒の安全を最優先に考え、中止されています。しかし、この状況下でも、ソーシャルディスタンスのガイドラインを満たしているテニスチームに関しては特別に実施の許可が下りています。

関東地区男子Varsity Tennis Team



チームは最初の練習を9月1日に行い、11月初旬のシーズン終わりまで毎週の練習を続けます。今年はG9の生徒4名が新たに加わったため、チームメンバーが11名になりました。このうち7名が10月初旬からYIS、CAJ、ASIJ、St. Mary'sとの試合に出場します。シーズン中のチームの健闘を期待しています！！



今シーズンは中村中学校・高等学校のコートをお借りしています。

アスリート スポットライト

Daiki (G9A) がサッカーの 'Tokyo Athletes Certified Player' に選出されました。令和2年度に選ばれたたった15名のうちの1人です(他に選出されたアスリートは276名)。「Tokyo Athletes Certified Player」では東京2021大会などの国際試合での活躍を期待されるアスリートのサポートや認定を行っています。主な目的は選手の育成、強化や試合機会の提供などです。Daikiは現在、三菱養和サッカークラブ巣鴨ジュニアユースにゴールキーパーとして所属しています



DaikiはG7とG8でKIST Comets Middle School Boys'チームに所属し、リーグ、トーナメント双方でチームを3位入賞に導いた立役者でした。ゴールキーパーとしての才能を発揮しているDaikiですが、当時はミッドフィールダーとして校内だけでなく、関東地区の他校生と比べても非常に優秀な選手でした。トーナメントでは最も優秀な選手2名が欠けた状態での参加となりましたが、準決勝に進出し、ペナルティーキックで3-0を勝ち取り、3位となりました。Daikiは負傷のため、後半からの出場でしたが、ペナルティーキック3本全てをセーブしました。このうち2本はきわどいもので、ゴール左上角に向けたシュートを見事なダイブで守り切りしました。関東地区の他の選手も彼のプレイには感嘆していました。



以下は小池百合子東京都知事の印が押された賞状です。Daikiのこれからの活躍を祈ります。



Dennis Ota
Athletics Coordinator



図書室ニュース

Elementary Library

数か月にわたる遠隔授業と夏休みを終え、いつも通りのライブラリーの授業に生徒の皆さんを迎えられるのは嬉しいことです！今月からライブラリーの授業が再開し、各クラスは週に一度、本を借りたり読み聞かせを聞いたりしにライブラリーへ来ます。

生徒たちに安全にライブラリーを楽しんでもらうため、ライブラリーではより一層の予防措置を実施しています。返却された本は3日間隔離され、ライブラリー内は定期的に消毒処置を行っています。また、ライブラリーに入ることのできる生徒の数にも制限を設けています。

ライブラリーにはたくさんの新しい本が入ってきています。生徒の皆さんが本を楽しんで読んでいる姿を見ることができると、楽しみにしています！



Shannon Goan
Elementary School Librarian

図書メディアセンター(LMC)へようこそ！

2020-21年度LMCスーパーバイザーのMr. Davignonです。KISTには長く在籍していますが、LMCには初めて配属されました。この機会に皆さんにLMCのオンライン教材をご紹介します。オンライン教材は以下リンクから見るができます。

Web https://kist.learning.powerschool.com/kistlibraries/kistlibraries/cms_page/view/48201492

このリンクからは以下の教材を閲覧・利用することができます。

Active History

Modern World Historyでは15世紀半ばから現代までの後半に亘る世界史について知ることができます。何千ものテーマ、人物伝、画像、ビデオ、地図や図表、一次資料や年表を見ることができます。

BrainPOP

全ての学年対象です。BrainPOPはKからG12(6歳から17

歳)を対象とした1000以上のアニメーションを持つ、教育ウェブサイトです。科学、人文、英語、数学、工学、保険、美術や音楽のクイズ、追加資料や教材を提供しています。

Britannica School

オンライン百科事典、推奨サイト、論文や記事、画像など。APA出典記録法も載っています。

Churchill Archives

1874年から1965年までの800,000ページにのぼる第1次資料を含む、近代国際史のデジタルライブラリー。

The Day

スタッフによる、学校や大学向けの図解付き時事問題資料。テーマ、コース、IBテーマによる検索可。

Destiny Discover

エレメンタリー・セカンダリーLMCの蔵書検索データベース。

The Financial Times

ロンドンをベースとした日刊国際紙のデジタル版: ビジネス、経済、時事問題に焦点を当てています。

JSTOR

学術論文、書籍、1次資料のデジタルライブラリー。

Raz Kids

インタラクティブなダウンロード可能な読書パズル付きe-ブック。

The World Almanac

子どものための世界年鑑

これらの参考資料・教材を自身のペースで試してみてください。私は皆さんをサポートし、質問に答えるためにここにいます(すぐに答えることができなくても、必ず、調べて返事をします!)。今年もLMCで皆さんと会えることを楽しみにしています！

Michael Davignon

Secondary Library Supervisor

KIST Library Team



Shannon Goan
Elementary School Librarian



Michael Davignon
Secondary Library Supervisor



Hema Teja Yadavalli
Library Assistant

Staff 10!

今月のStaff 10!では、2019年1月からKISTで勤務しているAlexander (Jay) McAllisterをご紹介します。本年度は、エレメンタリーのK1からGrade 1までのPEを教えています。



温厚なMr. Jayがスーツなしの人生はどんなものか思索しているところです...

1) 出身地について面白いことを教えてください。

私はカルフォルニア州サンディエゴ生まれですが、これまで引っ越しばかりしてきたので、故郷と呼べる場所は特にありません。大人になるまでに住んだことのある場所は、カルフォルニア州サンディエゴ、オレゴン州ユージーンとスプリングフィールド、そしてセントラルフロリダ、ベリーズです。

2) 世界で一番好きな場所はどこですか？

私の大好きな場所は、お盆期間中に阿波踊りが開催されている徳島です。阿波踊りを踊るのはとても楽しく、来年はお盆期間に徳島に戻ってまた踊ることができればいいなと思っています。

3) チャンスがあったら会ってみたい人は誰ですか？その理由を教えてください。

匿名アーティストのバンクシーに会ってみたいです。彼がどんな人物なのか誰も知らないの、自分の目で見てみたいです。そしてもしできることなら、彼の作品を手にとってみたいです。彼は時々、人々が持ち帰れるように自分の作品を道端に置いていくことがあるそうですから。

4) 何か特別なスキルやタレントをお持ちですか？

私は米国で漫画本を4年前に出版しています。将来的には、もっと多くの作品を出版し、映画の脚本なども挑戦してみたいです。

5) ご自身についてあまり知られていないことを教えてください。

家族休暇中に一度、海で迷ってホンジュラスまで漂流してしまっただけです。

6) あなたにとって一番の宝物は？

私のとっておきの持ち物は、Sinn Military Type 3の腕時計です。これは日本でのみ300個しか作られていない珍しい時計です。最近腕時計の修理を探しているときに、銀座でこの時計の製作者に出会いました。

7) あなたはどのIB学習者像を身近に感じますか？その理由もお聞かせ下さい。

私は「挑戦する人」にとっても近いと考えています。リスクを恐れず新しいことに挑戦し、自分らしく前に進んでいくことが好きです。

8) もう一度人生をやり直せるとしたら何か他のことをしたいですか？

機会があったらグーグルかアマゾンに投資しているかもしれません。ただそれ以外は特に変わらないと思います。今いる自分にとっても満足しています。

9) 自分を高めるために今やっていることは？

私は常に教える能力の向上を図り、また自分個人の成長のために、日本語のプライベートレッスンを受けています。また常にジムで身体を鍛えています。これからさらに筋肉量を増やし、脂肪を減らして、2021年に東京オリンピックが開催された時には、人々に選手の一人だと思ってもらえるようにしたいです。

10) ファンに一言お願いします。

学び続けること、そして楽しむことを忘れずに！

食料廃棄の削減



子ども食堂『下町子どもダイニング』へ寄付

新年度が始まりましたが、COVID-19の安全対策のため今しばらく生徒はK. Shopの利用ができません。カスタマーを無くしたスナックの消費期限を心配したスタッフのMs. Minakoの発案で、その有効活用先として子ども食堂『下町子どもダイニング』へ寄付することにしま



Ms. Minako(左側)子ども食堂の代表沖さんにスナックを手渡しています。

した。この子ども食堂は、CASグループ“Kodomo Shokudo Service”(メンバー: 現在G12生のRiya、Kaoru、Sujin、Min Seung、Michiko、Uri)の昨年からの活動先でもあります(The Comet March 2020参照)。



去年、子ども食堂でCASの生徒と子供達

スナックはとても喜んでいただけました。また、当校生徒のボランティア活動の再開も楽しみにしています！といううれしいお言葉をいただきました。私達も安全が確保され次第、クラブや奉仕活動が再開されることを楽しみにしています。

保健便り

家庭用救急箱について

「自宅で救急箱に何を用意すればいいのでしょうか？」というご質問を保護者の方からいただきました。

日常生活での小さなケガや緊急時に備えて品揃え豊富な家庭用救急箱を常備することは大切です。家庭用救急箱は直射日光を避け涼しく湿気の少ない所、更に施錠し子供の手が届かないよう保管するのが安全です。また小さな救急セットを車内に常備するのも外出時に便利です。

家庭用救急箱にあると便利な備品：

- **電子体温計**
- 使い捨てタイプの**冷たいジェルシート**(冷えピタなど)は子供の発熱時などに簡単に額に貼ることで皮膚の温度を約2度下げる働きがある。
- 傷などを洗う**精製水**など(汚れがひどい時は先に水道水で傷を洗う)
- **滅菌されたワイブ**: 拭くことで皮膚を簡単に殺菌し消毒する。
- **絆創膏**: 傷口の大きさに合わせてさまざまなサイズや形の違うアイテムがあり一般的なサイズの絆創膏は指やかかとの小さな切り傷や擦り傷にピッタリで、子供用絆創膏は一般的な絆創膏よりサイズが小さく子供の指に最適です。
- **使い捨て手袋**は血液感染から身を守るのに使います。
- 傷の大きさに合わせて幾つか違うサイズの**滅菌ガーゼパッド**などのドレッシング材があると便利です。
- **抗生剤の軟膏**は傷の感染予防や保湿に有効です。
- **綿棒**は細かい箇所を消毒し、軟膏を塗布するのにも便利です。
- **爪切り**
- **インスタントコールドパック**: 様々なケガの場面で冷やすことは有効です。冷やすことで血流をゆっくりさせ、打ち身や捻挫による腫れや内出血(アザ)などを抑えます。また虫刺されによる痒みを冷やすことで軽減できます。
- **スプリントと包帯**: 捻挫や骨折疑いがあるときに患部の足や腕を固定する装具とそのスプリントを包帯で巻いて固定します。



- **冷シップ**は捻挫や打ち身や腰痛などによる筋肉や関節の痛みを一時的に緩和します。一般的にこの様なケガのときは患部をコールドパックなどで冷やしてから冷湿布を貼ります。
- **ハサミ**
- **粘着性のあるテープ**(サージカル、医療用テープ)は傷を保護するドレッシングやガーゼや包帯の固定などに使用します。
- **三角巾**: 腕のケガで痛みが強く三角巾で腕を吊り患部の安静をはかります。また止血目的でも使用できます。
- **テーピング**: 巻くことでケガをした箇所しっかりと圧を与え、腫れを抑制し痛みの緩和や患部を固定するのにも役立ちます。
- **とげ抜き**(ピンセット): 使用前にとげぬきの先端をアルコールワイブなどで消毒し、トゲの方向と同じ向きでゆっくり皮膚から抜き取ります。
- **懐中電灯**: 手元を明るく照らし見やすいことで作業がしやすくする(例、トゲを抜く時)
- **人工涙液タイプの目薬**: 目がゴロゴロし不快な時に一時的に使用する。
- **虫刺され薬**: クリームタイプ液体タイプなどがあり、痒みを鎮め更なる掻きむしりを抑えてくれる。
- **痛み止め**: 医師から処方された痛み止め(本人用)又は市販薬(アレルギーの有無を薬剤師に相談する)。市販薬は添付文書をよく読んでから使用する。また薬は期限切れをチェックし有効期限内の内服薬を使用する。

その他

繰り返し使用できる**ソフトアイスノン枕**や**アイスパック**など冷凍庫に常備する。これらを使用することで頭、首や肩を瞬時に冷やすことができる。

Yukiko Yamazaki
School Nurse



参考資料:

Kathleen M. Cronan, MD. (August 2018). *First-Aid Kit. Kids Health.*
Retrieved from <https://kidshealth.org/en/parents/firstaid-kit.html>

大学ガイダンスニュース

2019-20年度KIST大学合格実績

今年もKIST卒業生の合格実績は非常に良いものでした。以下、2019-20年度の実績のハイライトです。

- トップ50の大学(2021年QSランキング)より51の合格通知を受けています
- 英国のトップ医学大学(Hull York)への無条件入学許可
- これまでに進学を希望し、出願した生徒の100%が合格(75%以上が第一希望に合格し、入学)
- 今年度の生徒は8つの国へ進学
- 英国が最も人気のある進学先: 16名が進学
- 2位が北アメリカ(カナダ、米国): 12名が進学

進化し続けるには?

進学ガイダンスチームとして...

...上記の3番目を最もうれしく思っています

KISTには将来の志望や興味関心も多岐に亘る多様な背景(今年は45か国から)を持つ生徒が在籍しています。より高いランクの大学を目指す生徒もいれば、学校の環境や所在地を重視する生徒もいます。75%以上の生徒が第一志望に合格し、入学したということは、私たちのプログラムが有効に機能しているということです。現在はG9とG10の生徒にも隔週で大学進学カウンセリングを提供しているので、これからは第一志望合格率を80%、そしてそれ以上に伸ばしていきたいと考えています。

保護者やご家族は...

...以下を行っていただくことで上記数字を更に伸ばせると考えています。

- お子さんとお話しし、特にお子さんの意見に耳を傾けてあげてください。
高校卒業が近くなるにつれ、保護者とお子さんとのコミュニケーションは減少する傾向にあります。多くの生徒にとって、G10の時の志望や目標が、2年後には全く変わっていいということも珍しくありません。お子さんの現在の目標や希望についてお話しする機会をぜひ設けてください。
- **一緒に**将来の計画を立ててください。
お子さんのことや、その将来について一番よくご存じなのは保護者の皆さんです。それでも、お子さんが保護者のご意見に「同意していない」場合、お子さんが興味のないことを学ぶ時間やお金を無駄にしまうかもしれません。多くの生徒がすでにしっかりと進路や将来設計を持っており、それらを現実にするために保護者のご指導やご協力を必要としています。また、何人かは迷いの中において、将来の成功のためにあと一押しが必要かもしれません。どちらにしてもご家族のサポートはとても重要です。
- どちらも、出来ることを正直に伝える。
保護者として、費用のことは考えず、お子さんにとって最上のことを望むのは自然なことです。しかし、昨今の大学の学費上昇に伴い、とても手が届かなくなってしまっている学校も一部存在します。お子さんがあまりにも学費が高い大学や、送り出すには心配な国や地

域の大学への進学を検討しているようでしたら、ぜひ一度話し合いの機会を持たれてください。多くの子どもがこのような問題、特にお金について保護者の方と話しながら進めたいかもしれません。その場合、是非保護者の方からはじめの一步を踏み出してあげてください。これらの問題が解決すると、お子さんもより明確に選択肢について考えることができます。



オンライン大学フェア・ウェビナー

直接大学を訪問する代わりに、世界中の多くの大学が2020年9月から10月にかけてオンラインウェビナーを提供しています。これらは関東地区のインターナショナルスクールや、大学ガイダンスパートナーであるCialfoによって提供されています。これらウェビナーの最新情報やスケジュールは[KIST University Guidance Calendar](#)から生徒、保護者のどちらにも閲覧いただけます。



バーチャルでのサポート継続



大学進学に関するサポートを希望されるご家族はCialfoに組み込まれているシステム(Zoom)を通して面談のお申し込みをしてください。

オンラインでの面談はCOVID-19感染予防にもなり、時間的にもご家族の負担が軽いと思われます。G9~12の生徒はCialfoにログインし、「meetings」タブから簡単に面談を予約できます。ここからカウンセラーの週間予定をご確認いただけます。また、予定に空きがある場合、システムからの面談予約がすぐに確定されます*。

***ご注意:** バーチャルでの面談を予約される場合、備考欄に「virtual parents meeting」とご記入ください。こちらからご招待をお送りします。

Thomas Waterfall

University Guidance Counselor

thomas.waterfall@kist.ed.jp

Office hours: Monday-Friday, 9:00 a.m.

-6:00 p.m.

University Guidance Office (3F)



卒業生大学合格実績

KIST 2020年度卒業生



()=合格生徒数 | [★]=奨学金付き合格
[#]=進学または進学予定確認済み | 2020年8月26日時点のもの

カナダ

McGill University (1)
University of Alberta (1)
University of British Columbia (8) (#2)★
University of Calgary (1)★
University of Toronto (6) (#3)★
University of Waterloo (2) (#1)★

香港

Hong Kong University of Science and Technology (3)★
University of Hong Kong (1)★

イタリア

Conservatorio Agostino Steffani (1) (#1)

日本

International Christian University (4) (#2)
Nagoya University (3) (#1)★
Sophia University (3)
Temple University Japan (1) (#1)
Waseda University School of Economics and Political
Science (1)
Waseda University School of Science and
Engineering (1)

オランダ

Leiden University (1) (#1)

アラブ首長国連邦

University of Birmingham Dubai (1)★

イギリス

Aston University (1)
City University of London (1)
Durham University (4)
Hull York Medical School (1) (#1)
Imperial College London (2) (#2)
King's College London (7) (#3)
Lancaster University (1)
Loughborough University (1)
Newcastle University (1)
Nottingham Trent University (1)★
SOAS University of London (1)
Queen Mary University (5) (#2)

University College London (4) (#2)
University of Bath (2) (#1)★
University of Birmingham (4)
University of Bristol (5) (#1)★
University of Edinburgh (4)
University of Exeter (4)★
University of Glasgow (1)
University of Leeds (9) (#1)★
University of Liverpool (1)
University of Manchester (11)★
University of Nottingham (3)★
University of Reading (1)
University of Sheffield (4) (#1)★
University of Southampton (1)
University of Surrey (1)
University of Warwick (4)

アメリカ合衆国

Arizona State University (1)
Boston University (1)
Creighton University (1)★
George Washington University (1)
Illinois Institute of Technology (1)
Kalamazoo College (1)★
Michigan State University (1)★
New York University (1)
Pennsylvania State University (1) (#1)
Pepperdine University (1) (#1)★
Portland State University (1)★
Quinnipiac University (1)★
Rensselaer Polytech Institute (1)
Rochester Institute of Technology (1)
Seattle University (1)★
University of California Davis (1) (#1)
University of California Santa Cruz (2) (#1)
University of California San Diego (1)
University of Charleston (1) (#1)★
University of Michigan Dearborn (1)
University of Michigan Flint (1)
University of Oregon (1)
University of San Diego (1)★
University of San Francisco (2) (#1)★
University of Washington (1)
Virginia Tech (1)
Washington State University (1)

